

豊中市立文化芸術センター

新型コロナウイルス感染拡大防止のための

ガイドライン

<ホール編>

2023年1月 改定版

目次

1	はじめに	1
2	感染防止のための基本的な考え方	1
3	主催者が講じる具体的対策	1
1)	企画・準備段階の対策	1
2)	公演当日の来場者への対策	3
3)	出演者・スタッフの予防対策	4
	＜日常生活の対策＞	4
	＜当日会場入りの際の対策＞	5
	＜公演形態における対策～クラシック音楽の場合＞	5
	◆鍵盤楽器、管弦打楽器（ソロやデュオ～室内楽、吹奏楽、オーケストラ含む）	
	◆声楽、合唱、オペラ	
	＜リハーサル、公演時の舞台上での対策＞	6
	＜舞台裏、控室・楽屋での対策＞	7
	＜出演者・スタッフに感染が疑われる人が出た場合の対策＞	8
	＜公演終了後の対策＞	8
4	当館が講じる具体的対策	8
1)	従事者に関する感染防止策	8
2)	施設や備品等の除菌対策	8
3)	その他の感染防止対策	9
	【インフォメーション】	9
	【参考資料】	9
	【関連業界ガイドライン】	10
	客席図（大・中・小ホール）	11-12

1 はじめに

このガイドラインは、公益社団法人全国公立文化施設協会策定の「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」(注1)、クラシック音楽公演運営推進協議会策定の「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」(注2)、一般社団法人コンサートプロモーターズ協会などが策定の「音楽コンサートにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」(注3)、一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワーク策定の「舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」(注4)、大阪府による「イベント開催等における感染拡大防止対策」(注5)などの内容をふまえ、当館使用の皆様をお願いする感染拡大防止対策をまとめたものです。今後の感染の動向や新たな知見に伴い、必要に応じて改定を行うものといたします。

2 感染防止のための基本的な考え方

新型コロナウイルスの感染経路は、**飛沫感染、エアロゾル（マイクロ飛沫）感染と接触感染**です。感染すると、**発症2日前から無症状でも他人に感染させる**伝播力があると言われています。より感染力を増した変異株への置き換わりが繰り返される中、感染リスクを最大限に軽減するため、あらゆる場面で以下の**対策をさらに深化徹底**していただく必要があります。



※マスクはフィルター性能の高い不織布マスク推奨。鼻にフィットさせて正しく着用する。

3 主催者が講じる具体的対策

前出の各団体等が策定したガイドラインをもとに、感染拡大防止のために必要な対策を提唱いたします。これらの感染対策は公演関係者、そして来場して下さる方々の感染予防につながり、イベント開催や文化芸術活動、社会全般に安心感と信頼感をもたらします。皆様の継続的な活動のためにも、主催者の責任において適切にご対応いただきますよう、宜しくお願いいたします。

1) 企画・準備段階における対策

公演企画にあたって、感染リスクの高まる「密閉」「密集」「密接」といういわゆる3密のいずれの発生も避けるよう、**ゼロ密となる対策**を講じてください。特に高齢者、持病のある方

が出演、あるいは多数来場すると見込まれる公演については、感染リスクや重症化リスクが高いことから、より慎重な対応をお願いいたします。

- ①公演開催に際し、公益社団法人全国公立文化施設協会ならびに当館の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに従った取組を行う旨、ホームページや広報物で公表する。
- ②「密」の発生を避けるため、搬入・仕込み、リハーサル、来場者の入退場、休憩、撤収・搬出に十分な時間を取ったうえで、余裕のある公演スケジュールを計画する。
- ③感染リスクをできるだけ避けるため、スタッフの人数は必要最小限にとどめる。
- ④使用日において指定する定員内での公演を企画する。
(現在の収容率は国の規定により、**必要な感染防止対策を徹底することを前提に**、地域の感染の収束状況、公演の内容、上演時間、想定される観客層等を踏まえつつ、以下のとおりとする。)

<p>◆観客による大声での歓声、声援、歌唱等がないことを前提とするもの クラシック音楽、演劇等、舞踊、伝統芸能、芸能・演芸、講演・式典、展示会 等</p>	<p>◆観客による大声での歓声、声援、歌唱等が想定されるもの ロック、ポップコンサート、親子会公演、キャラクターショー、スポーツイベント 等</p>
定員 100%以内	定員 50%以内 (上記内容でも大声なしの場合は 100%以内)
<p>同一イベントにおいて、「大声あり」「大声なし」のエリアを明確に区分して開催する場合、それぞれ定員 50% (大声あり)、100% (大声なし) 以内※ ※「大声あり」は、観客等が通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること</p>	
<p><各ホール定員数> 大ホール：1階 921人/7人* 2階 416人 中ホール (アクア文化ホール)：441人/5人 小ホール：198人/4人 *固定席/車椅子席</p>	

- ⑤使用内容によって、舞台上の発声等を伴う出演者から客席までの距離を 2m程度確保した配席とする (客席前列の使用を一部制限し、定員 100%に満たない場合あり)。
- ⑥イベント開催時には、大阪府の様式による「**感染防止策チェックリスト**」(様式 1)を作成し、イベントや主催者のホームページ、SNSなどで公表もしくはイベント当日に会場に掲示し、イベント終了日より 1年間保管する。なお、イベントにおいて問題(クラスター発生、感染防止策の不徹底等)が発生した場合は、直ちに「**イベント結果報告書**」(様式 2)を大阪府に提出する。

(様式1)(様式2)、および詳細は以下の大阪府ホームページを参照のこと。

大阪府ホームページ
[イベント開催等における感染防止対策について](#)

お問い合わせ先
06-4397-3293 (大阪府危機管理室災害対策課危機管理・国民保護グループ)

- ⑦オンラインのチケットシステムを活用するなど、チケットはできるだけ事前に販売する。
(当日入場時の密を避けることが可能)
- ⑧当日の速やかな入場と、主催者側で客席状況を管理調整できるように、指定席の導入を検討する。
- ⑨来場を控えてもらうケースを事前に十分周知し、その際に来場者ができるだけ不利益を被らず、有症状者の入場を確実に防止できるよう、状況に応じてチケットの振替や払戻などの対応策を講じる(入場制限の規定を十分周知している場合は、払戻不要)。
- ⑩舞台上のスペースに対して出演者の十分な距離が取れる演目・プログラムを企画する。
- ⑪感染リスクが高まるような演出は行わない(声援・唱和を促すなど)。ブラボーなどの声援は控え、拍手のみとしていただくよう周知する。
- ⑫ホワイエでのウエルカム演奏、サイン会など密集および接触の発生する場面を設けない。
- ⑬来場者への飲食物の提供、および飲食を伴う催事、当館での打ち上げは当面行わない。
- ⑭出演者の入・出待ち、公演後の面会等、公演関係者と来場者の接触は控えるよう、周知する。
- ⑮公演前後の飲食・会合の抑制等、施設外での感染防止について事前に注意喚起する。

2) 公演当日の来場者への対策

当日は感染防止対策のため、下記のを貸し出します。

- ・非接触体温計(大ホール3台、中・小ホール各2台、展示室・多目的室各1台)
- ・入口用消毒液(大ホール3本、中ホール2本、小ホール・展示室・多目的室各1本)
- ・アクリル板2種

(A) スタンド型



(B) 机上型



[サイズ]

(A)アクリル板

W90×H45cm(大ホール1台)

W60×H45cm(小ホール1台)

脚部

高さ35~60cm(可変性)

(B)アクリル板

W60×H75cm(開口部W30×H15cm)

(大ホール3台・中・小ホール各2台)

展示室・多目的室各1台)

- ①館内でのマスク（フィルター性能の高い不織布マスク推奨）の正しい着用（鼻にフィットさせたしっかりとした着用）、咳をする時は腕で口を覆う等の咳エチケットの実践を周知徹底する（マスクを着用していない人がいた場合は主催者側で配布・販売を行い、マスク着用率 100%を担保する）。アレルギーなどでマスク着用が困難な場合は、フェイスシールド着用のうえ、前後左右1席を空けるなど同等の対策を講じる。
- ②体温をチェックし、平熱と比べて高い発熱や咳、喉の痛みなどの症状がある方、その他体調不良の方の入場を制限する。
- ③新型コロナウイルス感染者との濃厚接触者の入場を制限する。
- ④「密」を避けるため、来場者多数の場合は時間差を設けるなど、入退場を分散させる。
- ⑤来場者の入退場時は一定の間隔を確保するよう、係員が適切に誘導する。
- ⑥誘導員を配置し、入場時に来場者の手指消毒を徹底する。
- ⑦対面販売（当日券や物品販売）を行う場合、アクリル板等の設置を推奨。係員は不織布マスクの着用に加え、必要に応じて手指消毒を行う。コンサートグッズなどはオンラインによる事前販売も検討する。
- ⑧入場料等の徴収時は、トレーでの金銭受け渡しを推奨。キャッシュレス決済の導入も検討する。
- ⑨チケットのもぎりを係員が行う場合は、適宜手指消毒をしたうえで行う。
- ⑩パンフレット・チラシを係員が手渡しする場合は、適宜手指消毒をしたうえで行う。
- ⑪係員はホワイエで「密」にならない、飲食をしないよう注意喚起する。
- ⑫入退場時、休憩時間などホール内での会話を抑制し、自席で静かに過ごすよう周知する。
- ⑬休憩時間を多く取り、都度、換気を行う。
- ⑭来場者の声援や激しい動きを制限し、これらの行為があった場合は個別に注意等を行う。
- ⑮集合写真やイベントとしての撮影会は、十分な感染対策を取ったうえで速やかに行う。
- ⑯特別観覧室（大ホール）は当面、上手・下手各1組ずつの使用とする。
- ⑰感染が疑われる方が発生した場合は、速やかに当館、および必要に応じて医療機関等に連絡し、指示に従う。

3) 出演者・スタッフの予防対策

公演関係者の予防対策は日々の練習や稽古段階から徹底する必要がある、本人のみならず、その同居する家族等についても重要です。感染力の強い変異株への置き換わりにより、幅広い年齢層に感染が広がり、公演団体の出演者やスタッフにおいてクラスターの発生も散見されます。公演内容によりその必要性や水準等が異なることを鑑み、各公演ジャンルの総括団体等のより詳細なガイドラインも参照のうえ（P.9【参考資料】【関連業界ガイドライン】）、その表現形態に応じて感染防止に努めるようにしてください。

<日常生活の対策>

公演開催に向け、日常生活において出演者およびスタッフなどの感染予防対策として、以下

の徹底に努めてください。

- ①マスク（不織布マスク推奨）の正しい着用、マスク着用下においても咳をする時には腕で口を覆うまたは下を向くなどの咳エチケットの実践。
- ②こまめな手指消毒または手洗い。
- ③日々の十分な睡眠、水分摂取をはじめとした健康管理。
- ④主要な関係者については、必要回数のワクチン接種を推奨。
- ⑤日常生活における、感染リスクの高い場所への出入りの自粛、自己隔離。
- ⑥練習に際して換気に注意し、短時間で効率よく行う、参加者の時間差を設けて「密」を避けるなどの総合的な対策。
- ⑦公演またはリハーサル開始までの1週間に、次のいずれかの症状または事象がある出演者・スタッフは自宅待機とし、抗原検査キットでの検査、または医療機関等に相談し、その結果および判断に基づき主催者は公演・練習参加の可否を決定する。参加不可となる関係者が発生した場合のバックアップ体制を整えておく。
 - ・平熱と比べて高い発熱がある。
 - ・咳、喉の痛み、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、頭痛ほか、体調不良の症状がある。
 - ・新型コロナウイルス感染者との濃厚接触があった。
 - ・同居人や身近な知人の感染が疑われる。
- ⑧海外からの出演者の招聘は、当該国による日本への渡航制限および日本政府による当該国に関する水際措置に従う。

<当日会場入りの際の対策>

出演者・スタッフは、公演当日およびリハーサル当日に会場入りする際は、次のような対策を徹底してください。

- ①会場入りする前に自宅で検温し、平熱と比べて高い発熱や咳、喉の痛みなどの症状がある場合、その他体調不良の場合は出演・参加を控える。
- ②公演時の出演者を除きマスク（不織布マスク推奨）の常時正しい着用を原則とし、マスク着用下においても咳をする時には腕で口を覆うまたは下を向くなどの咳エチケットも実践する。
- ③会場入りしたらまず手洗い、手指の消毒を行う。
- ④控室、楽屋ではできるだけお互いに距離を保つ。
- ⑤公演関係者の中に感染者が発生した場合、他の公演関係者に注意喚起できるよう、公演関係者の緊急連絡先の把握を推奨。

<公演形態における対策～クラシック音楽の場合>

クラシック音楽の場合、次のような対策をお願いいたします。(注2)

◆**鍵盤楽器、管弦打楽器**（ソロやデュオ～室内楽、吹奏楽、オーケストラ含む）

- ①ソロやデュオ～室内楽では、すべての演奏者は十分な間隔を保持するよう努める。
- ②舞台前方で管楽器の演奏を行う場合は（特にトランペット・トロンボーン）、演奏者の位置から客席最前列までの距離について、水平距離で2 m以上の距離を置くよう努める。
- ③大規模編成の吹奏楽、オーケストラ等の場合は、以下の点に留意する。
 - ・舞台上の換気の確保について、より一層留意する。
 - ・トランペット、トロンボーンは前方の演奏者との距離を最低でも1.5m確保するよう努める。
 - ・管楽器の水抜き用の布などは、ビニール袋に入れ密閉して持ち帰る。

◆**声楽、合唱、オペラ**

- ①歌唱位置から客席最前列まで水平距離で2m以上の距離を置くよう努める。
- ②複数の歌手が出演する公演ではすべての歌手は十分な間隔を保持するよう努める。
- ③合唱の場合、指揮者・伴奏者と合唱団員との間は2m程度を確保するよう努める。(注6)
- ④合唱が出演する公演では、歌手間の距離をマスク着用時（品質の確かな不織布マスク推奨）は前後1 m左右 50cm、未着用時は前後2 m左右 1 m以上確保する。市松模様状の並び方とした場合も、斜め前方の歌手との距離を1.5m程度（最低1.2m）確保する。(注6)
- ⑤オペラなどの大規模公演については、上記の対策に加え、演出上の工夫をする等、複数の手法を組み合わせる総合的な感染対策を講じる。
- ⑥声楽および合唱に伴う飛沫の飛散は、舞台上の換気状況や湿度・温度等によりリスクが高まる可能性があることを十分に認識し、適切な換気を行うとともに、総合的な対策を講じるよう努める。

< **リハーサル、公演時の舞台上での対策** >

舞台上では接触を抑制する観点から、次のような行動に努めてください。

- ①リハーサル中は、出演者・スタッフは会話をする場合にはマスク（不織布マスク推奨）を正しく着用する。マスク着用下においても咳をする時には腕で口を覆うまたは下を向くなどの咳エチケットも実践する。会話する際はマスクを着用していなければ十分な距離を確保する。
- ②舞台上のセッティングにあたっては、演者が発声する・激しい呼吸を伴う運動や管楽器の演奏を行う場合は P5< **公演形態における対策** >を参照のうえ適切な距離を確保する、芸術表現上または演奏上難しい場合は使用する客席の位置を舞台から十分に離す。
- ③搬入・仕込み、リハーサル、撤収・搬出に際して十分な時間を設定し、感染対策を講じる。
- ④ピアノやマイクなど備品を使用する場合は、使用の前後に手洗い、または手指消毒を行う。
- ⑤管楽器の結露は床に落とさず布、吸水シート等で処理し、演奏者自らが指定の場所に捨て、最終的に密閉した袋に入れて持ち帰る。

< 舞台裏、控室・楽屋での対策 >

舞台裏、控室・楽屋などの利用については不特定多数が触れやすい場所の適宜消毒、常時換気を心がけ、接触を抑制する観点から次のような行動に努めてください。

- ①同時に多くの人が同一の場所を利用することがないように、使用に際して時間差を取るなどの対応を行い、「密」になることを避ける。
- ②舞台裏、控室・楽屋ではマスク（不織布マスク推奨）の常時正しい着用を徹底する。
- ③消毒液を設置し、こまめな手指消毒を徹底する。
- ④諸室および楽屋に設置している CO2 測定器の値を常に 1000ppm 以下に保つように、十分な換気に留意する。
- ⑤控室や楽屋で飲食をする場合は、1～2mの距離を保ち、真正面の配置を避ける。
- ⑥食事中的会話は控え、黙食を実践する。
- ⑦ケータリングは表面の汚染を防ぐ方法を用い、ビュッフェ形式でなく、弁当の提供とする。
また、飲み物は1回分の容器に入ったボトルや缶などで提供する。
- ⑧食事を扱うスタッフは適切なマスク着用のうえ、適宜手洗いおよび手指消毒を徹底する。
- ⑨使い捨ての紙皿や紙コップを使用し、使用後はビニール袋に入れ口を縛り、密閉して持ち帰る。



CO2 測定器

[控室・楽屋の定員数]		
() 内は合唱、吹奏楽、バレエ・ダンス等の練習時、および感染状況による人数制限強化の場合の定員数		
大ホール		
大楽屋 36人 (18人)	中楽屋 24人 (12人)	小楽屋 1～3 2人 (1人)
中ホール		
楽屋 1 2人 (1人)	楽屋 2 15人 (7人)	楽屋 3 15人 (7人)
小ホール		
楽屋 1 7人 (3人)	楽屋 2 5人 (2人)	
展示室 213人 (106人)	多目的室 160人 (80人)	
アクア音楽室 48人 (24人)	アクア練習室 36人 (18人)	
練習室 1 21人 (10人)	練習室 2 47人 (23人)	練習室 3 18人 (9人)
スタジオ 8人 (5人)	和室 16人 (8人)	
ミーティングルーム 1 26人 (13人)	ミーティングルーム 2 20人 (10人)	ミーティングルーム 3 20人 (10人)

<出演者・スタッフに感染が疑われる人が出た場合の対策>

公演中またはリハーサル中に感染が疑われる人が出た場合は以下のとおり、適切な対応をお願いいたします。

- ①体調不良者に適切なマスク（不織布マスク推奨）を正しく着用させ、速やかに隔離する。
- ②対応するスタッフは、マスク（不織布マスク推奨）や手袋を着用のうえ対応する。
- ③速やかに当館、および必要に応じて医療機関等に連絡し、指示に従う。
- ④スタッフによって取得した個人情報、漏洩することがないように十分な対策を講じる。

<公演終了後の対策>

- ①来場者と接触するような行動は控え、ホワイエや楽屋口等での出待ちはお断りする。
- ②サイン会など、密集および接触の発生する場面は設けない。
- ③舞台裏、控室や楽屋には長居せず、速やかに着替えを済ませて、換気の良い場所へ移動するよう心がける。
- ④公演終了後は反省会等、出演者・関係者が集合して「密」になるようなことは行わない。
- ⑤ホワイエで使用した机（中ホール設置型除く）・椅子・アクリル板はホワイエ設置の除菌シートで消毒する。
- ⑥当館での公演後の関係者による打ち上げは当面行わない。
- ⑦公演後、クラスターが発生した場合は速やかに当館に連絡し、直ちに「イベント結果報告書」を大阪府に提出する（P.2 参照）。

4 当館が講じる具体的対策

1) 従事者に関する感染防止策

- ①適切なマスクの常時正しい着用や手指消毒の徹底。
- ②次のいずれかの事例がある場合、出勤を控える。
 - ・平熱と比べて高い発熱がある。
 - ・咳、喉の痛み、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、頭痛ほか、体調不良の症状がある。
 - ・新型コロナウイルス感染者との濃厚接触があった。
 - ・同居人や身近な知人の感染が疑われる。

2) 施設や備品等の除菌対策

- ①各ホール高頻度接触部位（客席ひじ掛け、客席通路手すりなど）、楽屋の机、椅子の消毒。
- ②全室のドアノブ、スイッチ、内線電話、机、椅子、和室の畳の消毒。
- ③共用部の高頻度接触部位（入口扉の手すり、階段手すり、エレベーター手すり・ボタン、トイレ蛇口、コインロッカーの鍵・取っ手など）の消毒。
- ④各部屋の鍵、事務所貸出の備品（譜面台、マイク、車イスなど）の消毒。

- ⑤ホール、展示室、多目的室の備品の消毒。
- ⑥当館入口、事務所窓口に手指消毒液を設置および全施設用の手指消毒液、除菌シートを貸出。

3) その他の感染防止対策

- ①身体的距離を取りやすいよう、事務所窓口、トイレ、ベンチなどに必要な表示を行い、「密」の発生を防止。
- ②高機能の空調設備により、定期的な換気を実施。
- ③事務所窓口に飛沫防止のためのアクリル板を設置。
- ④トレーによる現金の受け渡しおよびキャッシュレス決済の導入。
- ⑤希望者への電話・オンラインによる打合せの実施。
- ⑥感染防止対策についての啓発・要請事項を各所に掲示。

【インフォメーション】

◆豊中市新型コロナウイルス感染症コールセンター（兼 受診相談センター）

TEL：06-7177-9538（土日祝含め 24 時間対応）

FAX：06-6152-7328（平日 9:15～17:15）

【参考資料】

(注1) 公益社団法人全国公立文化施設協会

[「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」](#)

(注2) クラシック音楽公演運営推進協議会

[「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」](#)

(注3) 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会ほか

[「音楽コンサートにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」](#)

(注4) 一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワーク

[「舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」](#)

(注5) 大阪府

[イベント開催等における感染防止対策について](#)

(注6) 一般社団法人全日本合唱連盟

[「合唱活動における新型コロナウイルス感染拡大防止のガイドライン」](#)

【関連業界ガイドライン】

- 映画・演芸：全国興行生活衛生同業組合連合会
[「映画館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」](#)
[「演芸場における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」](#)

- 舞踊：公益社団法人日本バレエ協会
[「バレエ教室における新型コロナウイルス感染予防ガイドライン」](#)

公益社団法人日本チアリーディング協会
[「チアリーディング活動再開のガイドライン」](#)

- 伝統芸能：独立行政法人日本芸術文化振興会
[「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」](#)

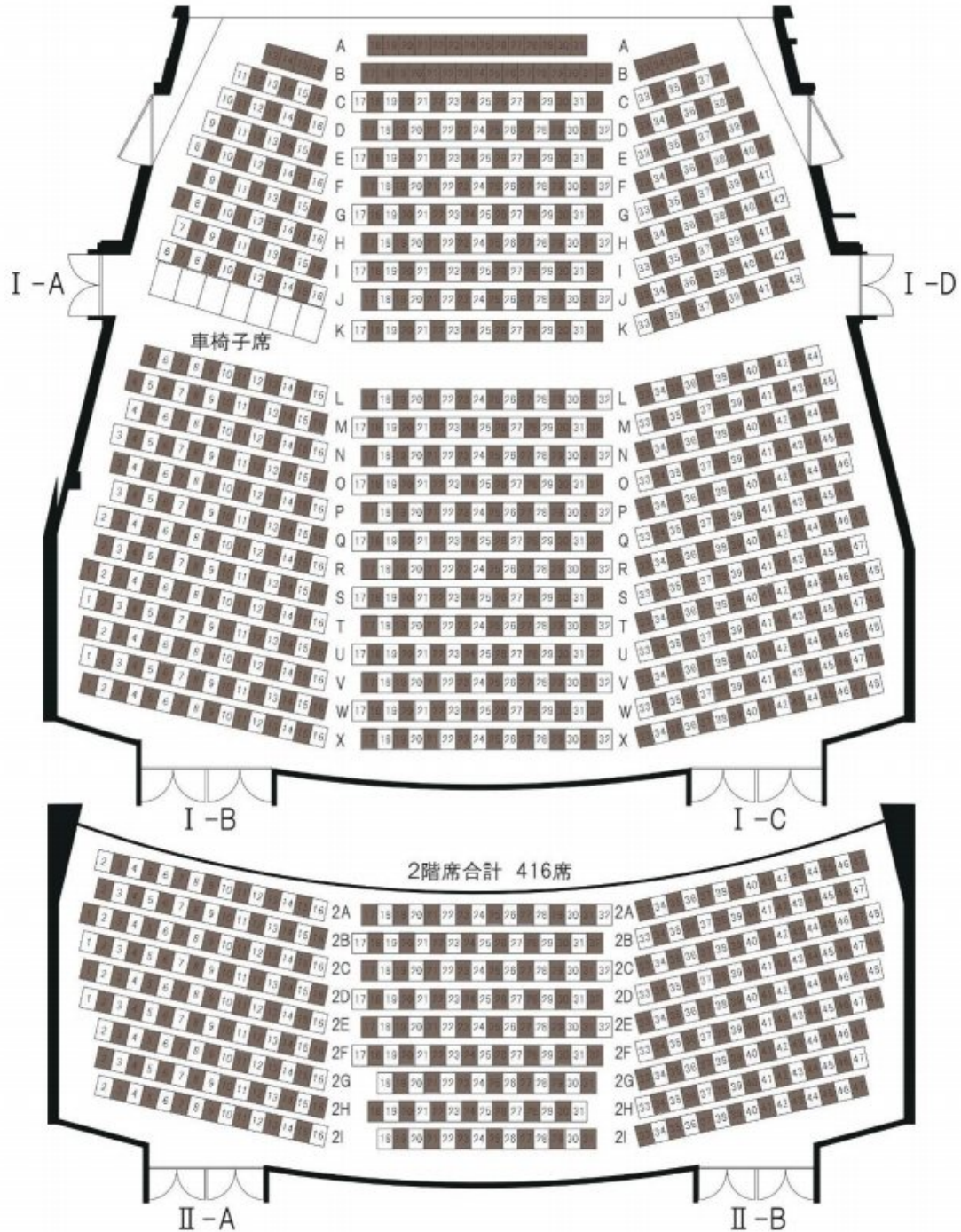
- 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会
[「ピアノ教室における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」](#)

- ワークショップ：体験教室連絡会
[「体験教室向け新型コロナウイルス対策ガイドライン」](#)

豊中市立文化芸術センター 大ホール客席

客席 1344席
(オケピット使用時1248席)

1階固定席 921席
車椅子席 7席



<参考例>

前2列と前後左右1席ずつ空けた場合

1階 442人/4人 (固定席/車椅子席) 2階 208人

中ホール 客席 446 席

(441 席 車椅子 5 席)



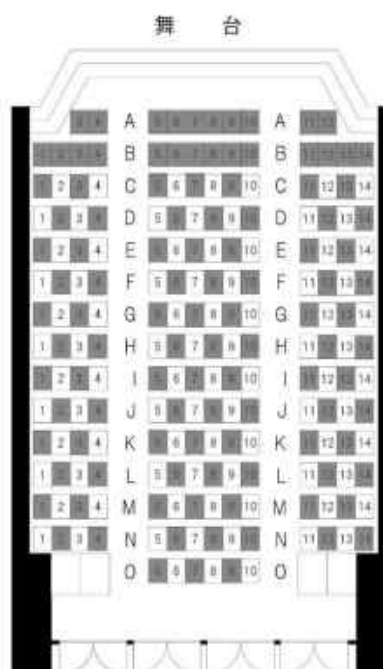
<参考例>

前 2 列と前後左右 1 席ずつ空けた場合

195 人 / 3 人 (固定席 / 車椅子席)

小ホール 客席 202 席

(198 席 車椅子 4 席)



<参考例>

前 2 列と前後左右 1 席ずつ空けた場合

前 87 人 / 2 人 (固定席 / 車椅子席)